学校番号	315

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅱ	2	第２学年	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ FACTBOOK Jump to writing[New Edition]-英文法の定着から英作文へ- 3rd Edition 英文法・語法 Engage、Engage 3rd Edition 文法編 準拠問題集 Basic Training Book、

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年生で学習した知識・技能を深めるとともに、既習の文法や表現方法をさらに定着させて、学んだことを用いて伝えたいことを表現する力を養います。
・話すことや書くことを中心とした総合的な言語活動を通して、英語でコミュニケーションを図るために必要な発信能力を強化するとともに、情報や考えなどを工夫しながら論理の構成や展開を工夫して伝える能力を養います。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・相手が言ったことを正しく聞き取ることができる。 ・やや難しい、速い英文を聞き、正しい解答を選べる。 ・発表者・発言者の発言を正しく聞き取ることができる。	・つなぎの言葉の使い方を理解して読むことができる。 ・文と文の関係やパラグラフの構成を理解しながら読むことができる。 ・文章の要点をつかむことができる。	・与えられた状況で、適切に話し伝えることができる。 ・自分の身近なテーマについて、自分の意見を、適切な表現で伝えることができる	・与えられたテーマに沿って、情報を調べ、英語で発表する準備を個人単位、グループ単位でし、必要な調整や修正を加え、より良い発表を作り上げていくことができる。 ・用意した原稿を基本とし、原稿を覚えたまま発表するのではなく、より伝わりやすく、自分の言葉を加えながら発表することができる。	・学んだ文法を的確に使って文を書くことができる。 ・与えられた課題について文章が書ける。 ・パラグラフの構成を考えながら文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	［知識］ 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 ［技能］ 目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手・読み手など他者に配慮しながら，主体的・自律的に表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し，学年末に 5 段階評価の評定にまとめます。 学習に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	How should we lead a healthy lifestyle? Steps we can take to Zero Hunger Donating the right kind of food What are good and bad sides of urbanization? Is your city sustainable enough? Well-managed city for the future	聞くこと	a: 会話の音声を聞いて、内容を聞き取ることができる。 b: 会話の音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えることができる。 c: 発話を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	授業内小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 様々な「つなぎの言葉」の用法を理解し、論理構成を意識して、まとまりのある文を理解することができる。パラグラフの基本構成を学び、列挙・順序のパターンを理解することができる。現在・過去・未来を表すための適切な動詞の形や文の構造を理解することができる。義務・必要・推量を表すための助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解することができる。 b: 人々の健康ついて書かれた文章を読んで、適切な主語の使い方を理解することができる。飢餓を解決する方法について書かれた文書を読んで、適切な動詞の使い分けについて理解することができる。フードバンクについて書かれた文章を読んで、時を表す表現の概念を理解することができる。大都市で起きている問題について書かれた文章を読んで、様々な助動詞の概念と文の構造を理解することができる。 c: 学習した事項を理解し、論理構成を意識して、まとまりのある文を理解しようという態度が見られる。	定期考査 （リーディング） 授業内課題
		話すこと （やり取り）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b :相手の発話に対して適切に応答することができる。 c: 自分の考えや気持ちなどを相手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度が見られる。	授業内活動 （スピーキング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b: 様々な「つなぎの言葉」の用法を理解し、論理構成を意識して話すことができる。フードバンクについて、適切な時制を表すように動詞を活用し、様々な助動詞の概念と文の構造を理解しながら、自分の意見や考えを伝えることができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内活動 （スピーキング）
		書くこと	a: 主語の選択や主語になる名詞句、形式主語の概念を理解し、適切な文を組み立てることができる。自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てることができる。現在・過去・未来を表すための適切な動詞の形や文の構造を理解し、義務・必要・推量を表すための助動詞を用いた適切な文を書くことができる。 b: 様々な「つなぎの言葉」の用法を理解し、論理構成が分かりやすく、まとまりのある文章を書くことができる。パラグラフの基本構成を学び、列挙・順序のパターンを用いた論理的な構成やつなぎの言葉を適切に用いて、書いて伝えることができる。フードバンクについて、パラグラフの構成を意識して詳しく書いて伝えることができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えをなんとか伝え、相手の意見や考えも理解しようとする態度がみられる。	定期考査 （ライティング） 授業内課題

	期末考査			
2学期	Which should get more priority: culture or the environment? How to live a plastic-free life Thinking globally, acting locally Helping others at home and abroad Challenges to equality The growing role of charities	聞くこと	a: 会話の音声を聞いて、内容を聞き取ることができる。 b: 会話の音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えることができる。 c: 発話を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	授業内小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 名詞を修飾する様々な表現を理解し、情報を追加する様々な文の構造を理解しながらまとまった文を読むことができる。直接話法・間接話法・条件や仮定など、相手に情報を伝えるための様々な伝達表現を理解しながらまとまった文を読むことができる。 b: 情報を伝える手段として英語を学ぶことについてまとまった文を読むことができる。ジェンダー平等についてまとまった文を読んで情報を得る。関心のあるチャリティに関して、比較・対比の話を理解することができる。 c: 学習した事項を理解し、論理構成を意識して、まとまりのある文を理解しようという態度が見られる。	定期考査 （リーディング） 授業内課題
		話すこと （やり取り）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b :相手の発話に対して適切に応答することができる。 c: 自分の考えや気持ちなどを相手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度が見られる。	授業内活動 （スピーキング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b:情報を伝える手段として英語を学ぶことについて自分の意見を伝えることができる。ジェンダーについて自分の意見をペアやグループで議論することができる。関心のあるチャリティに関して、比較・対比を用いてスピーチとして伝えることができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内活動 （スピーキング）
		書くこと	a: 名詞を修飾する様々な表現を理解し、情報を追加する様々な文の構造を理解して文を組み立てることができる。直接話法・間接話法・条件や仮定など、相手に情報を伝えるための様々な伝達表現を理解し文を組み立てることができる。 b: 環境問題の原因とその影響、女性のクオーター制の賛否について、自分の意見をパラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝えることができる。2つの異なる働き方について自分の意見をまとめ、ペアやグループで議論するための原稿を作ることができる。関心のあるチャリティに関して、比較・対比を用いてスピーチの原稿を書くことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えをなんとか伝えようとする態度がみられる。	定期考査 （ライティング） 授業内課題
	期末考査			

3学期	Produce locally, consume locally Sharing as one way to create new value Community living, community thriving	聞くこと	a: 会話の音声を聞いて、内容を聞き取ることができる。 b: 会話の音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えることができる。 c: 発話を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	授業内小テスト (リスニング)
		読むこと	a: 数量表現や比較、否定を表す表現や文の構造を理解しながらまとまった文を読むことができる。 b: 地産地消、シェアリングコミュニケーション、都市や地方での生活の利点についてまとまった文を読み、情報を得ながら自分の意見を持つことができる。 c: 学習した事項を理解し, 論理構成を意識して, まとまりのある文を理解しようという態度が見られる。	定期考査 (リーディング) 授業内課題
		話すこと (やり取り)	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b :相手の発話に対して適切に応答することができる。 c: 自分の考えや気持ちなどを相手にわかりやすく効果的に伝えようとする態度が見られる。	授業内活動 (スピーキング)
		話すこと (発表)	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b:地産地消について、プレゼンテーションを意識して、自身の意見や考えを述べることができる。ディベートを意識して、主張が似ているもので意見をまとめたり、異なるものに反論したりすることができる。シェアリングコミュニケーションについて、ディスカッションを意識して、お互いに建設的な意見を話して伝え合うことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内活動 (スピーキング)
		書くこと	a: 数量表現や比較、否定を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。 b: 地産地消について、プレゼンテーションを意識して、構成や伝え方を考え、主張の根拠になる資料やデータも準備してまとまった文を書くことができる。また、シェアリングコミュニケーションについて、ディベートを意識して、賛否の意見を考え、詳細なまとまった文を書くことができる。都市や地方での生活の利点について、ディスカッションを意識して、様々な観点から集めた情報をまとめ、相手に伝えるためのまとまった文章を書くことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	定期考査 (ライティング) 授業内課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度